

田原市 あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより

No.74

令和2年1月15日号

今月の渥美半島の花
「リシアンサス」



令和元年第4回定例会（12/2～12/16）

- 定例会で決まったこと…………… 2
- 議案一覧・主な質疑…………… 4
- 一般質問…………… 6

その他

- 議会の活動…………… 14
- 議会報告会…………… 15



しめ縄に願いを込めて 五穀豊穡・地域安全

浦八幡社奉賛会関係者の皆さんです。（インタビュー16ページ）

病後児保育から温泉掘削契約まで 多岐にわたる議案を審議

令和元年 第4回

定例会 (12月2日～16日)

こんなことが決まりました。

市長提出議案 28件

令和元年第4回定例会を、12月2日から16日まで開催しました。
令和元年度一般会計補正予算を含む市長提出議案28件を、いずれも原案のとおり
同意・承認・可決しました。
また、陳情2件を審査し不採択としました。

▷関連4・5ページ

病後児保育室が開設されます

議案第100号病後児保育室の設置及び管理に関する条例

児童が病気の回復期にあり、集団保育が困難な
期間において、保護者の子育てと就労の両立を
支援するため、病後児保育室が令和2年4月1
日に開設されます。
・利用料1日2000円/人



新年のごあいさつ

田原市議会議長 大竹 正章



令和2年の新春を迎え、市民の皆様のご健勝をお喜び申し上げます。

昨年は、市内でCSF感染という重大事件が発生しましたが、昨年10月末より感染拡大防止策としてワクチン接種が始まり、今後の被害防止・早期終息を切願しております。

さて、田原市議会は、昨年より『結果を出す議会』を目指し、政策形成サイクル導入に向けた取り組みを始めました。多様な声を聴く機会を充実させる目的で『市政広聴会・意見交換会』もスタートさせ、今年中の試行開始を目指しております。住民に身近で、頼られる議会と評価されるよう、精進してまいります。結びに当たり、新しい年が皆様にとって実り多き一年となりますよう、お祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

議案第116号温泉掘削工事請負契約

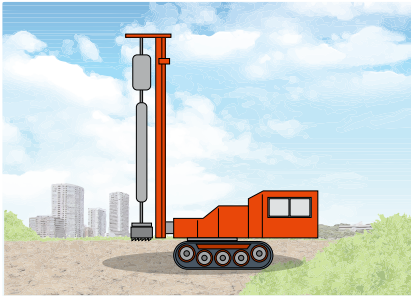
温泉掘削工事業者が決まりました

温泉掘削工事が令和2年1月から始まります。

掘削工事は、伊良湖地区で行われ、令和3年2月までの予定で、その後、温泉揚湯設備工事を経て、令和4年4月ごろ、温泉利用開始が計画されています。

・契約の相手方

株式会社エオネックス



議案第120号令和元年度一般会計補正予算(第3号)

総額4億6千万円余の一般会計補正予算を可決しました

野生イノシシ捕獲量の増加に伴う報償費等の増額、また、公共工事の発注・施工時期の平準化への取り組みに要する経費を含めた道路、河川及び公共施設等の適切な管理に必要な事業費の増額などが盛り込まれました。



議案番号	議案名
96	固定資産評価審査委員会委員の選任(加藤 均氏)
97	固定資産評価審査委員会委員の選任(山本 達夫氏)
98	人権擁護委員候補者の推薦(寺田 悦子氏)
99	人権擁護委員候補者の推薦(杉江 節子氏)
100	病後児保育室の設置及び管理に関する条例
101	田原リサイクルセンターの設置及び管理に関する条例
102	部等設置条例の一部改正
103	職員定数条例の一部改正
104	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正
105	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正
106	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正
107	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正
108	教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正
109	職員の給与に関する条例の一部改正
110	市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正
111	下水道条例の一部改正
112	水道事業の設置等に関する条例の一部改正
113	水道事業給水条例の一部改正
114	新市建設計画の変更
115	田原斎場新築工事請負契約の変更
116	温泉掘削工事請負契約
117	財産の無償譲渡(グリーンタウン大久保集会所)

118	伊良湖岬小学校新築工事請負契約の変更
119	災害対応特殊救急自動車(高規格救急自動車)購入契約の変更
令和元年度補正予算	
120	一般会計補正予算(第3号)
121	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
122	農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
追加議案	
123	印鑑条例の一部改正

※議案番号欄が白の議案は、賛否が分かれた議案です。

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

議案 No.100

病後児保育室の設置及び管理に関する条例

問 保育士と看護師の配置や人員の体制は。

答 利用者がある時に第一保育園勤務の保育士2人が勤務し、看護師は緊急時に速やかに駆けつける体制とする。

問 利用料を1人につき1日2千円とした根拠は。

答 臨時保育士の単価と国や県の運営費補助を基に、人件費が賄える金額を利用料とした。

問 事業のPRや市民への周知は。

答 2月に保護者に送付する保育所入所決定通知にチラシを同封する他、広報たはらやホームページに掲載、公共施設でチラシの配布や掲示を行う。

(12/9文教厚生委員会)

議案 No.102

部等設置条例の一部改正

問 「建設部」と「都市整備部」を再度統合する狙いは。

答 部を分けたことで専門性が高まり、4年間でその狙いは着実に果たした。その一方で、専門化・細分化により職員個々の業務に偏りや依存性が見える。また、災害等の対応の際、小さな組織では職員をカバーする柔軟性に欠けるなどの弊害があり、これらの課題を解消するため。

(12/9総務産業委員会)

議案 No.105

公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正

問 個別の派遣先の団体を条例でなく規則で定める理由は。

答 今後の施策や社会情勢に対応するため、多様な職員派遣の必要性が高まる。近隣自治体の条例を参考にしながら、派遣先の団体の要件を条例で定め、個別の団体名を規則に定めることで、機動的かつ柔軟な運用を可能とするため。

問 派遣する団体を規則に追加・削除する場合、議会への情報提供は。

答 新たな派遣先団体を定める場合、しかるべき時期に伝える。

(12/9総務産業委員会)

議案 No.113

水道事業給水条例の一部改正

問 給水装置工事事業者の指定が5年ごとの更新制となったが、更新手数料を7千円とした根拠は。

答 更新事務を行う職員人件費及び印刷や通信費などの経費を合わせて算出した。

問 事業者指定の更新制を導入した背景は。

答 所在確認の取れない事業者の排除、無届工事や不良工事の解消を図るため。

(12/9文教厚生委員会)

議案 No.116

温泉掘削工事請負契約

問 最低価格入札者が落札しなかった理由は。

答 最低価格入札者を落札候補者として調査・ヒアリングを実施。落札者として決定する前に、「適正な労働環境の確保が困難であること、掘削の進捗を安易に判断し、工程計画を見誤った」との理由から辞退の連絡があり、次順位の業者を落札候補者とした。

問 工事内容の事前説明は。

答 工事の設計書や仕様書によって内容等を指示している。

(12/9 総務産業委員会)

議案 No.120

一般会計補正予算（第3号）

ごみ減量・資源化推進事業

問 指定ごみ袋の利用が当初の見込みを上回った要因は。

答 実績がなかったため他の自治体を参考に積算したが、総使用枚数が想定より多く、特に単価の高い45リットル袋の利用が多かったため。もやせるごみが増えてしまったということがあるか。

答 もやせるごみは、前年同期と比べて減っている。

セントファールの外壁改修工事

問 セントファール外壁改修工事費増額の要因は。

答 外壁以外の部分にさび等による劣化が見つかり、全面塗装工事が困難となったため、工事を分けた。この分を追加で補正要求したため。

問 民間の商業施設は自分で維持管理しているが、今後もセントファールの管理費の負担を続けるのか。

答 商業施設だが公の施設として建設したものであり、管理費の負担の協定書がある。建物の所有者が田原市の間は支援する。

市営高木住宅の取壊し工事

問 市営高木住宅の取り壊し予定は。

答 令和2年3月から8月の工期予定。住宅跡地の検討は。

問 市有財産管理事務適正化方針に沿って、利活用あるいは処分の方針を決める。

(12/10 予算決算委員会)

討 論

議案に対する
本会議での議員の
賛成・反対の表明です

議案 No.116

温泉掘削工事請負契約

反対（岡本重明）

開札後に、自社で請け負えると言っていた1番札業者から辞退するとの申し入れがあり、2番札業者が落札した。市からは設計書も示されており、岩盤を考慮していなかった等の辞退理由には疑問が残る。2千メートル級の温泉掘削の実績もある1番札業者のこの辞退理由について、あまりにも調査不足ではないかと感じる。本議案に対し現時点では反対するものである。

賛成（村上誠）

開札後、最低価格者を落札候補者としたことは、田原市一般競争入札実施要領に沿っており、事後審査型一般競争入札は市及び業者の事務軽減にもなり、内容も正当な行為と言える。

落札候補者が、審査の落ち者となる前に辞退した理由についても、掘削の進捗を安易に判断してしまい、工程

賛否が分かれた議案

本会議では、議案に対して一人ひとりの議員が賛成・反対の意思表示をします。今定例会では、以下の議案の賛否が分かれました。賛成・反対の討論はこのページに掲載しています。また、その他の議案は、全会一致で可決しました。

議案番号	議案名 (一部省略)	結果 (賛成:反対)	岡本 重明	赤尾 昌昭	鈴木 和基	廣中 清介	古川 美栄	長神 隆士	内藤喜久枝	辻 史子	小川 貴夫	岡本 禎稔	平松 昭徳	太田由紀夫	内藤 浩	村上 誠	仲谷 政弘	中神 靖典	森下田嘉治	大竹 正章	
116	温泉掘削工事請負契約	可決 (15:2)	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○…賛成 ×…反対 —…議長は議決に加わらない

計画を見誤ってしまったことなどがあった。入札の次順位である落札者の審査も田原市一般競争入札実施要領に沿っており、本契約は妥当である。

ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

防災用備蓄品として乳児用液体ミルク導入の考えは

課題が解決されてくれば、市の備蓄品として検討していきたい



辻 史子

公明党田原市議団

双子や三つ子など多胎児の育児支援について

- 問** 多胎児の育児支援について、今後の方向性は。
- 答** 産後ケア事業については、受入施設を拡大し、より利用しやすい形に拡充していきたい。また、養育支援訪問事業の中で育児支援や外出支援を行う。

成人男性風しん抗体検査・予防接種事業及び高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業について

- 問** 風しんの流行を抑える今後の取り組みは。
- 答** 会社等の健康診断の時期に間に合うようにクーポン券の発送時期を早めたり、分かりやすいチラシを配布したり、市の保健事業にご協力いただいている企業等に働きかけたりしていく。
- 問** 一番若い65歳の高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種未接種者への再通知は。
- 答** 再通知は行っていないが、今後は接種状況を見ながら検討する。

水害に備えた事前防災行動計画（タイムライン）について

- 問** 住民主導の避難を促すために、時系列で自身や家族の防災行動を整理するマイタイムラインの策定を推進する取り組みは。
- 答** ホームページ、広報紙や各種研修会等で普及・啓発を図っていく。

乳児用液体ミルクの防災用備蓄について

- 問** 防災用備蓄品として、乳児用液体ミルク導入の考えは。
- 答** 保存期間や価格、アレルギー対応の製品化など課題が解決されてくれば、市の備蓄品として検討していきたい。



長期停電による災害への対応は

主要施設においては、非常用発電機等を整備し、最低限の電源を確保できるよう対策をとっている



内藤 浩
自民クラブ

台風等による災害への応急対策について

問 長期停電による災害への対応は。

答 主要施設においては、非常用発電機等を整備し、最低限の電源を確保できるよう対策をとっている。

問 停電時におけるオール電化の市営住宅への対応は。

答 停電については、入居者個々で対応をお願いし、水道水は、送水ポンプが稼働しなくなるため、受水槽を通さずに水が汲める蛇口等を設置している。

問 市民ができる停電対策に対する補助金は。

答 家庭用蓄電池や燃料電池、電気自動車から家庭に給電できる充電設備の設置に対して、最大10万円の補助金を交付している。

問 大雨等による水害への対応は。

答 出水期前対応訓練を実施し、排水機や樋門等の操作確認を行っている。市内主要河川に設置された水位計や防災カメラの映像の常時監視、現地での目視による水位監視を行っている。

問 住宅が浸水した場合の災害廃棄物の対応は。

答 集積場は住宅近くの資源ごみステーションとし、その後分別・保管する場所として、一次、二次の仮置き場を設置する。

問 災害ごみが原因で火災が起きた事例があるが、二次的被害を防ぐ対策は。

答 仮置き場では、可燃物を5メートル以上に積み上げない、延焼防止と消火活動が行えるよう2メートル以上の間隔を空けて積む、消火器を設置するなどの対応をする。



一般質問

- | | | |
|------|-------|---|
| P 6 | 辻 史子 | 双子や三つ子など多胎児の育児支援について
成人男性風しん抗体検査・予防接種事業及び高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業について
水害に備えた事前防災行動計画（タイムライン）について
乳児用液体ミルクの防災用備蓄について |
| P 7 | 内藤 浩 | 台風等による災害への応急対策について |
| P 8 | 岡本 重明 | 田原市のまちづくりについて |
| P 9 | 村上 誠 | 渥美線豊島駅周辺の環境整備について |
| P 8 | 仲谷 政弘 | 主要農作物種子法（種子法）廃止の影響と対策について
伝統野菜等の活用と農産物のブランド化について |
| P 10 | 内藤喜久枝 | 死亡に伴う窓口手続きについて |
| P 11 | 小川 貴夫 | 渥美地域における市街化区域及びその周辺の土地利用について
渥美地域における災害時の備えについて |
| P 10 | 古川 美栄 | 人口減少対策への取り組みとその現状について |
| P 12 | 赤尾 昌昭 | 田原市の公共交通の取り組みについて |
| P 13 | 中神 靖典 | 今後の行財政運営について |

渥美半島西部の農業地域の20年後の姿は

仕事・住居・生活機能等の持続性のある農業地域としていく



岡本 重明
みんなの党田原市議員

田原市のまちづくりについて

- 問** 渥美半島西部（若戸・和地・堀切・伊良湖・亀山・中山）の農業地域の20年後の姿は。
- 答** 仕事・住居・生活機能等の持続性のある農業地域としていく。
- 問** 田原・赤羽根・福江の各市街地の20年後の姿は。
- 答** 田原は本市の都市拠点、福江は準都市拠点、赤羽根は市街地拠点として、それぞれの特性に沿った市街地形成を図る。
- 問** ショップレイ周辺整備が、周辺農業地域に悪い影響を及ぼすことはないか。
- 答** 農業地域の方のことも考えながら検討をしているので、悪影響を及ぼすことはないと考えている。
- 問** ショップレイ周辺が、商業施設の整備になった際には、田原市街地同様に指定管理会社委託等を検討するのか。
- 答** 全て未定である。

- 問** 人口減少に伴い運行費が増大し、公共交通によるサービスが受けられなくなることも想定できる。そこで、乗車運賃とは異なる運賃財源確保構想、例えば商業施設併用型交通網等の新たな発想での公共交通網の整備を検討する必要があるのではないか。
- 答** 現時点では、新たな発想の公共交通網の整備を検討する必要はないと考えている。
- 問** 現在の公共交通網で農村地域の市民は、満足していると捉えているか。
- 答** 市民意識調査の結果から、全ての市民からは満足は得られていないと捉えている。
- 問** 雑草に覆われた路側による交通安全への影響は。
- 答** 危険を感じる場面もあると思う。
- 問** 交通安全に悪影響が出ている道路の雑草対策は。
- 答** 市道の防草シート布設や舗装、植樹帯の一部廃止等を検討している。
- 問** 1年中、ある程度の雑草抑制により道路の美観維持管理ができるめどは。
- 答** 市が管理している幹線道路も長く、国・県道の維持管理は愛知県が担っており、全線を年間通じて常時きれいに保つことは難しい。

- 問** 種子法が平成30年4月に廃止されたが、その影響は。
- 答** 愛知県においては種子法施行時と同様に種子開発及び供給体制が維持されており、現段階では大きな影響は生じていないと認識している。
- 問** 県の種子条例制定に向けた働きかけは。
- 答** 現在、県議会において政策条例の検討・調整が進められており、その動向について注視していく。
- 問** 種子法廃止により、遺伝子組み換え種子・作物の輸入拡大が危惧されるが、今後の動向は。
- 答** 輸入に関しては、生物多様性への影響評価、食品としての安全性評価、飼料としての安全性評価について個別法令で定められており、問題ないもののみ輸入、流通、栽培等が行われている。

主要農作物種子法（種子法）廃止の影響と対策について

**伝統野菜の商品名の登録
商標の取得に対する助成は**
生産者3人以上であれば、農水産業アイディア支援事業により支援を受けることができる



仲谷 政弘
自民クラブ

豊島駅周辺を整備する可能性は

田原市街地の形成状況等を勘案しながら検討したい



村上 誠

自由民主党田原市議員

渥美線豊島駅周辺の環境整備について

問 新規市街地拡大候補地の範囲は。

答 改訂版田原市都市計画マスタープランにおいて、市街化区域に隣接していること、農業振興上の影響がないことなどの観点から神戸と豊島の天白・梅碓地区の中で決定する。

問 豊島駅周辺までを市街地の隣接地として拡大候補地にできないか。

答 市街化区域の拡大可能面積は、愛知県が決定する。豊島駅周辺まで含めると面積が過大になる。

問 吉胡と豊島を結ぶ道路城下田原線ができれば、豊島駅周辺が居住地に相応した場所になると思うが、将来性も含め、整備する可能性は。

答 将来的に居住地としての需要が多く見込まれるようになれば、田原市街地の形成状況等を勘案しながら検討したい。

問 豊島駅周辺の県道と市道の合流箇所にある横断歩道や踏切直近にある見通しの悪いカーブなどの道路整備に対する考えは。

答 県道・市道ともに現状の交通量に対する道路構造は適格と判断しているので、現段階での整備の必要性は考えていない。

問 豊島駅への送迎に伴う踏切直前での路上停車や民地に入って駐車している現状を踏まえた道路整備はできないか。

答 道路整備での対応でなく、交通ルールの遵守や運転する方のマナーの向上をお願いしたい。

問 豊島駅利用の現状から乗降場所や駐車場の整備はできないか。

答 豊橋鉄道株式会社と一緒にパーク・アンド・ライド（※）の推進や鉄道駅の利便性向上に向け検討したい。

※パーク・アンド・ライド

自宅から最寄駅または駐車場まで自家用車を使い、そこから公共交通機関に乗り継ぐ移動方式。

伝統野菜等の活用と農産物のブランド化について

問 伝統野菜の栽培を拡大していく考えは。

答 渥美アールスメロンやファーストトマトの栽培の拡大を目指し、PRや価格の安定化に努めたい。他の品種についても、栽培を拡大したいという複数の農家があれば支援を考える。

問 種苗法改正による伝統野菜等の栽培への影響は。

答 最初の販売から1年を経過した品種については登録できないとされているので、現状で出荷が行われている品種については影響は生じないと考えている。

問 商品名の登録商標の取得に対する助成は。

答 生産者3人以上であれば、農水産業アイデア支援事業により支援を受けることができる。

死亡に伴う様々な手続きを分かりやすくするため、おくやみコーナー等の設置が必要では

おくやみコーナーの設置を今は考えていないが、手引書作成の検討など、よりよい窓口を目指す



内藤 喜久枝
かがやき

死亡に伴う窓口の手続きについて

- 問** 死亡に伴う様々な手続きがあると思うが、主な手続きを行う窓口は。
- 答** 亡くなる方の約9割が65歳以上なので、年金や医療の届出を扱っている保険年金課の窓口が多い。
- 問** 保険年金課以外の介護保険や障害者等の手続きがある場合の対応は。
- 答** 必要な書類を事前に保険年金課に準備している。説明を要する場合は、各部署の担当職員が保険年金課の窓口に出向き対応している。
- 問** 手続きにかかる時間は。
- 答** 亡くなった方によって異なるが、長い方で30分程度かかる。
- 問** 手続きの多い方で10枚を超える届出書が必要になるようだが、届出書をまとめることはできないか。
- 答** 届出書は、愛知県や日本年金機構等に提出するものがあり、まとめることはできない。

- 問** 住民票や戸籍謄本等を取ることがあるようだが、高額なお金が必要か。
- 答** 亡くなられた方によるが、市役所での手続きに必要な金額はおおむね1,000円になる。
- 問** 死亡に伴う手続きで遺族が迷わず、より分かりやすいように、おくやみコーナー等の設置が必要では。
- 答** おくやみコーナーの設置を今は考えていないが、遺族の手助けになるように、死亡の手続きに関する情報を記載した手引書作成の検討など、よりよい窓口を目指す。

結婚支援の取組体制は

庁内各部署やそれに関わる外部団体も含め、連携体制の構築を図る



古川 美栄
自由民主党田原市議団

人口減少対策への取り組みとその現状について

- 問** 農業や商工業者に対しての結婚支援は。
- 答** 婚活支援事業補助金にて運営費を補助するとともに、メール配信にて事業の周知を支援している。
- 問** 婚活支援事業補助金により支援している団体は。
- 答** 田原市若手農業者の会、ベジエール渥美婚活実行委員会、農業委員婚活実行委員会、渥美商工会青年部有志会、消防団の有志の会などを支援している。
- 問** 市役所関係部署や外部組織との総合調整など結婚支援についての取組体制は。
- 答** 庁内各部署やそれに関わる外部団体も含め、連携体制の構築を図る。

ショップレイ周辺の活性化事業の進捗状況と今後の進め方は

来年度、実施主体等を踏まえ、整備構想を一つに取りまとめていく予定である



小川 貴夫
自由クラブ

渥美地域における市街化区域及びその周辺の土地利用について

- 問** 新規市街地拡大候補地に位置付けられている古田地区の居住地確保に対する考え方と事業の進め方は。
- 答** 世帯分離者や津波浸水区域からの移住の受け皿として位置付けている。今後、需要を勘案し、手法等を検討する。
- 問** 福江市街地のショップレイ周辺の活性化検討事業の進捗状況と今後の進め方は。
- 答** 今年度は、福江市街地活性化委員会で整備構想の素案を3案程度作成し、来年度、実施主体や整備手法等を踏まえ、整備構想を一つに取りまとめていく予定である。
- 問** 素案が決まった時などの節目に、進捗状況等を周知すべきでは。
- 答** 渥美商工会、福江市街地活性化委員会と検討していく。

渥美地域における災害時の備えについて

- 問** 津波避難を目的に浮遊型の津波シェルター購入に助成する考えは。
- 答** 専門家の意見等も聞きながら、製品の性能や有効性、その他の方策も含めて研究していく。



- 問** 親子交流館で実施している妊娠・出産・子育ての総合相談窓口や地域子育て支援センター、一時預かり事業の取組状況は。
- 答** ママサポーターや子育てコンシェルジュが丁寧に対応し、個別の相談が必要な場合は相談窓口へつなぐなど、連携した支援も行っている。
- 問** 人口減少の問題を子どもたちが考えていくような授業ができないか。
- 答** 田原市の人口減少は、子どもたちにも考えさせたい問題だ。田原市に対する子どもたちの視野を、さらに広げたり、焦点を合わせたりする学習が進むよう、助言していく。
- 問** 市全体として人口減少対策への考えは。
- 答** 全部局一丸となって取り組み、人口減少対策を推進していく。

MaaSの導入について積極的に研究を進めることはできないか

MaaSの動向を注視しながら企業と一緒に研究し、基礎となる部分のオープンデータ化を進めていきたい



赤尾 昌昭
市民クラブ

田原市の公共交通の取り組みについて

問 公共交通の課題は。

答 市民から公共交通充実の意向はあるが、市民の約8割は自家用車を利用している。高齢者等の移動手段も公共交通への転換が進まず、バスやタクシーは、利用者及び運賃収入が減少傾向であること。

問 田原市の公共交通の望ましい姿は。

答 都市間、市街地間、集落間の移動を安心してできることと考える。急速な高齢化で、自動車を運転できない人が増加することから、鉄道やバス、タクシー等による移動の確保、サービスレベルの維持を図りたい。

問 路線バスやぐるりんバスなどでは、利用者の声をどのように反映しているのか。

答 豊鉄バスは、3年に一度、市内高等学校の生徒を対象にアンケートを実施。ぐるりんバスでは、運転手から利用者の声を把握したり、路線カルテを作成し、コミュニティ協議会と利用者の声を吸い上げてルートやダイヤ、バス停の位置などに反映している。

問 民間を活用したデマンド型交通を導入することで、経費抑制は考えられないか。

答 定時定路線運行を続けていく予定であるが、利用者の減少、さらなる費用負担の際は、曜日運行、デマンド型の導入なども検討する必要があると考えている。

問 公共交通などの利便性向上のために、ICTを活用したMaaSという技術の開発が進んでいる。MaaSの導入について積極的に研究を進めることは考えられないか。

答 MaaSの動向を注視しながら企業と一緒に研究し、MaaSの基礎となるバスのダイヤ、ルート、バス停の位置などのオープンデータ化を進めていきたい。

MaaS（マース）：「Mobility as a Service」の略。スマホ等を活用し、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。

議会ホームページで本会議（一般質問）の映像を見ることができます。

www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/



田原市議会
インターネット議会中継
生中継・録画中継

一般質問の録画がパソコン・スマートフォン・タブレットで見られます。

お知らせ information

令和2年第1回定例会（3月議会）会期

3月2日（月）～23日（月）

日	月	火	水	木	金	土
3/1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (施政方針・議案審議)		本会議 (一般質問)			
8	9	10	11	12	13	14
	文教厚生委員会 総務産業委員会	予算決算委員会	予算決算委員会	予算決算委員会		
15	16	17	18	19	20	21
	予算決算委員会		議会運営委員会 ・同協議会			
22	23	24	25	26	27	28
	本会議 (採決等)					

10:00 開会
 (9日 総務産業委員会…13:30開会)
 (10～12日、16日 予算決算委員会…9:00開会)
 日程及び時間は、変更になる場合があります。

山下市政2期目の最初の予算編成の最重点は

定住政策・交流人口の拡大、安心・安全で快適なまちづくり、子育て支援全般に力を入れていきたい



中神 靖典
自由民主党田原市議員

今後の行財政運営について

問 本市の中長期の財政見通しは。

答 市税収入は、本年度当初予算では155億円を計上しているが、令和2年度134億円、令和3年度129億円と減少していくと見込んでいる。基金からの繰入金は令和2年度は30億円、令和3年度、4年度20億円台を予定している。予算規模は、令和2年度292億円程度、令和3年度289億円程度、令和4年度268億円程度になると見込んでいる。

問 投資的経費の財源確保は。

答 国・県の財政支援制度の有効活用、市債の借り入れ、財政調整基金を始めとする各種基金の活用により、必要な事業規模を確保していきたい。

問 令和2年度の予算編成における基本的な考え方は。

答 一点目は、本市まちづくりの最上位に位置する「総合計画の将来像」を実現するため、田原市総合計画第14期実施計画を着実に実施する。二点目は、必要な行政サービスを維持し続けるため、さらには重点施策を実施する財源を生み出すことができるように、予算規模縮小に応じた行政サービスの見直しを図る。

問 重点施策の推進方策は。

答 「住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり」では、農業・商工業者の生産活動支援による産業振興や観光推進などを行う。「住み続けたいまちづくり」では、出産・子育て環境、教育環境の充実や安心・安全で快適なまちづくりを目指す。「未来につながるまちづくり」では、効率性の向上や歳出抑制により持続可能性の向上を目指す。

問 山下市政2期目の最初の予算編成の最重点は。

答 1点目は人口減少が進む中での定住政策、交流人口の拡大、2点目は安心・安全で快適なまちづくり、3点目は子育て支援全般に力を入れていきたい。

議会だよりの有料広告募集

田原市議会では、財源の確保と地域経済の振興を目的として「田原市議会だより」に掲載する有料広告を募集します。

■掲載ページ：

最終ページ下段（16ページをご覧ください）

■掲載号：

令和2年4月15日号～翌年1月15日号（全4回）

■発行部数：20,700部（市内の全世帯等に配布）

■掲載料：年41,880円

■募集期間：令和2年2月28日（金）まで

■選考方法：

広報広聴委員会で審査し、応募者多数の場合は議会だより広告掲載要領第8条の規定に基づき決定します。

■問い合わせ先：

田原市議会事務局 TEL:0531-23-3533

E-mail:gikai@city.tahara.aichi.jp

※詳しくはお問い合わせください。

【お詫言】

田原市議会だよりNo.73の6ページ令和元年第3回定例会議案一覧において、誤りがありました。
令和元年度補正予算の議案第65号、第66号は、令和元年第2回定例会の議案でした。
申し訳ありませんでした。

10月30日
三遠南信サミット2019in南信州



東三河、遠州、南信州地域で、行政・地元住民などによる一体的な振興を目指しています。

10月28日
普通救命講習



急病の方や負傷した方の応急処置の方法（AEDの使い方）を学びました。議員は2年に1回、普通救命講習を受講しています。

10月8日
北海道登別市議会行政視察受入



「議会BCPの策定」「ペーパーレス化の推進」について視察を受け入れました。

11月14日
愛知県農村生活アドバイザー協会
田原支部との意見交換会



愛知県農村生活アドバイザー協会田原支部19名の方と意見交換会を行いました。

11月13日
豊橋・湖西・田原市議会
議長協議会要望活動



浜松三ヶ日・豊橋道路早期実現などを国土交通省、財務省に要望しました。

11月11日
文教厚生委員会市外視察



豊橋市立くすのき特別支援学校及び豊橋資源化センター等を視察しました。

議会視察報告

議会運営委員会

(10月15日～16日)

【視察テーマ・場所】

- ・「議会運営（予算・決算の審査）について」（岐阜県大垣市）
- ・「議会運営（予算・決算の審査）と議会改革（常任委員会の所管事務調査）について」（大阪府八尾市）



【参考になった点・所感】

- ・市民から意見を吸い上げてテーマの選定をしていたが、大変苦慮されたようである。本市でも意見交換会などでの意見から議論を進めて、政策提言に結び付けるべく検討をしているが、いかに意見を引き出すか、議員の努力が必要だと思う。

議会報告会

11月1日(金): 童浦市民館・和地市民館

11月5日(火): 神戸市民館・野田市民館・清田市民館



9月定例会の報告会には、延べ177名の方が参加してくださいました。

市民の声

あなたも自分の声を
議員に伝えて
みませんか？

(主な意見)

- 田原の農業のブランド力が、年々落ちてきているように感じる。もっとマスクミを使って宣伝する必要がある。農業新聞に豊橋や豊川の記事はよく載るが、田原のことが載らない。本当に日本で一番の農業か。
- 農業関係の担い手を増やす取り組みを進めるべきと考える。
- 市街化調整区域がネックになっている。少しでも農転しやすくなるように緩和しないと家が建てられない。現状の人口は維持したい。これ以上減ると、コンビニもなくなってしまう。余計過疎化に拍車がかかってしまう。
- 呼び名を「田原」でなく「渥美半島」で売り出した方がよい。
- 市外からの人を呼び入れる。豊橋の道の駅が賑やかいので、臨海にも道の駅をつくれば。
- 福江再開発について、市民に対しての中間報告をしてほしい。
- 街道の整備(花を利用し、ワクワク感を出す)
- 道路脇のゴミのポイ捨て問題をなくすには、人づくりが大切。
- 小学校にプールがないのは、おかしい。市民プールとして人を呼び込む手もあるが、学校にあるのが一番良い。競争させにゃ駄目。
- 部活に合わせた下校バス運行となっているので、3年生は部活もないのに1時間も学校に足止めされている。親が迎えに行く家庭もある。

田原市民まつり(10月27日開催)に出展しました。

「画でみる議会活動」と題し、議会活動カレンダーや議員プロフィールの展示や議会紹介動画の上映、市民との意見交換を行いました。

(主な意見)

- ◆ 土砂災害危険区域になっている地区の側溝の詰まり等で水はげが悪く、土砂災害に繋がらないか心配。市として側溝の掃除等管理をしてほしい。
- ◆ 転職やUターンで職に就きたい人が帰ってきてても田原で職がなく結局市外で就職となってしまふ。
- ◆ 通学路、歩道の草刈りをしてほしい。



※市内図書館にて、「写真でみる田原市議会」として、市民まつりと同じ内容の展示を行います。ぜひ、図書館をご覧ください。

渥美図書館

1月11日(土) ～ 2月13日(木)

赤羽根図書館

2月18日(火) ～ 3月12日(木)

*中央図書館での展示は終了しました。



インタビュー

Vol.24

浦八幡社奉賛会関係者の皆さん

—しめ縄について、教えてください。

しめ縄は漢字では「注連縄」と書き、神社等では神の領域と我々の現世を隔てる境界としての役割を果たしています。しめ縄で囲まれた場所や物は神の領域であり、神が宿ることを意味しています。

—どんな活動をしているのですか。

浦八幡社奉賛会関係者20名ぐらいで、23本のしめ縄を作り、浦八幡社や雷電神社などに年2回奉納しています。名古屋の熱田神宮にも、年1回しめ縄を奉賛会役員で奉納に行きます。



—地域との関係は？

毎年、秋に開催される「笠山だでのんまつり」で、童浦小学校1・2年生がお手玉などの「昔の遊び体験」を、3〜6年生が「ものづくり体験講座」の中でしめ縄作りの体験をしています。私たちがその指導に当たり、子どもたちと一緒にしめ縄を作っています。



—楽しいこと、大変なことは何ですか。

みんなと一緒に、一つのことを成し遂げる喜びがあります。日本の古き伝統「しめ縄作り」の文化の伝承や若手しめ縄技術者の育成が課題です。

—今後の活動は？

地域の皆さんと一緒に人材の育成に力を注ぎ、しめ縄作りを未来につないでいくとともに、五穀豊穡と地域の安全を願い、しめ縄作りをすることで、活力ある地域にできるように活動していきたいと思っています。

(聞き手：中神靖典) 令和元年12月取材

発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

🌐 <http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ gikai@city.tahara.aichi.jp



社会福祉法人 福寿園

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3
TEL (0531)27-0008 FAX(0531)27-0828

募集

パートさん

しその葉の摘み取り作業

内職さん

しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅:TEL0531-37-0447

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。